

私たちが ラグビー

ラグビースクールに所属する小学生達による、ラグビーへの思いが込められた作文を紹介し

ラグビーに関する作文が 宮崎日日新聞で 紹介されました

ラグビーが

都農小1年

本田 晴羽



わたは、まいしゅう王
たひひなラグビーをし
ています。あさのじから日
時まで。8じはなが
をいってそのへはじつて
いきます。タグをとりた
らちかくなかまにパスを
します。だんたいゆうきが
出てきました。
わたしは、タグラグビー
が大好きです。(都農小)

「2027国スポへ向けた意気込み」
延岡少年RS 國井 彩寿
私がラグビーを始めたきっかけは兄2人の影響です。私の兄は運動が得意で、どんなスポーツをやっても楽しんでしまいます。私は運動が大好きで、お兄ちゃんみたいになりたいです。でもできるわけじゃないから何かスポーツをやってみようかと思いましたが、ラグビーをやってみようと思ったのは理由が2つあります。1つは毎週、日曜日の練習にお母さんと一緒に練習しているうちに同じ学年の友達が増えてグラウンドに行くのが楽しくなってきたことです。もう1つは、我が家にはラグビーがあつて、やりたいことをやるからには勉強もお手伝いもブラッリアーやというルールです。兄たちはラグビーが好きでやりたくて仕方ないからどんな大変なときでもそのルールを守っていました。それを見て私は、はじめは大変そうだな、私だったらそんな見えないでいるうちにラグビーって楽しいスポーツなんだなと思うようになりました。そして、小学2年生の4月に私も入部しました。

このころのうんどうじょうようにおぼあちゃんときいています。じゆんびは、いし川コーチとしています。カラーコーチをならべたり、ラグビーをひろげたりしています。みんながあつたらあかさつしてはじまります。わたしが、こうれいをかけることがあります。そのわけは、一ばんはやくきいたかめです。一ばんうれしときは、トライをしたときです。タグとむおにこはこはこもたのしいけどあしがいたくなるときがあります。トライをしたらコーチがほめてくれます。

汗を流してぶつかり合って……声を出しては、みんながひるむような体の大きき相手にタックルして動きを止めるのがとても得意になりました。チームの男子からは、「試合の彩寿くん」とよく言われます。6年生になって思うのは、コロナでなかなか前のようにできないけど、そんな時だからラグビーではもちろんだけど色んな場面でワンフォアオール、オールフォアワンでラグビー仲間みんなで助け合っているようになれたらと思います。2027国スポのとき、私は高校3年生になつてと思っています。

11月のあいで、むくひようをきめてがんばりました。1かいトライをきめました。とてつよいへんたつたけごうれしかつたです。このあいで、2かいトライをきめました。あひの手がきいたあひをいってそのへはじつていきます。タグをとりたらしかくなかまにパスをします。だんたいゆうきが出てきました。

私は昨年(2020年)の9月、友達に誘われラグビーを始めることにしました。最初は「タックルされた時は痛いかな」「きつたけどやっつけてくれるかな」と色々不安がありました。初めて練習に参加した日に

「ラグビーを始めて」

宮崎RS 増竹 夏希

私は昨年(2020年)の9月、友達に誘われラグビーを始めることにしました。最初は「タックルされた時は痛いかな」「きつたけどやっつけてくれるかな」と色々不安がありました。初めて練習に参加した日に

は上級生との試合に入れてもらう事になり、とても苦しく、6年生はすごいなと思った事を覚えています。でも2回目、3回目と参加するたび、どんどんラグビーが楽しくなっていました。私が一番楽しんでいるのは、トライをした瞬間です。みんなが喜んでくれて、お兄ちゃんみたいになりたいです。でもできるわけじゃないから何かスポーツをやってみようかと思いましたが、ラグビーをやってみようと思ったのは理由が2つあります。1つは毎週、日曜日の練習にお母さんと一緒に練習しているうちに同じ学年の友達が増えてグラウンドに行くのが楽しくなってきたことです。もう1つは、我が家にはラグビーがあつて、やりたいことをやるからには勉強もお手伝いもブラッリアーやというルールです。兄たちはラグビーが好きでやりたくて仕方ないからどんな大変なときでもそのルールを守っていました。それを見て私は、はじめは大変そうだな、私だったらそんな見えないでいるうちにラグビーって楽しいスポーツなんだなと思うようになりました。そして、小学2年生の4月に私も入部しました。

このころのうんどうじょうようにおぼあちゃんときいています。じゆんびは、いし川コーチとしています。カラーコーチをならべたり、ラグビーをひろげたりしています。みんながあつたらあかさつしてはじまります。わたしが、こうれいをかけることがあります。そのわけは、一ばんはやくきいたかめです。一ばんうれしときは、トライをしたときです。タグとむおにこはこはこもたのしいけどあしがいたくなるときがあります。トライをしたらコーチがほめてくれます。

「国スポへ向けた意気込み」

高鍋RS 木下 見大

私は、高鍋西小学校6年の木下見大です。1年生から高鍋ラグビースクールに所属しています。ラグビーを始めた理由は、お父さんもラグビーをやっていたことと、五郎丸拳選手が活躍している姿を見てカッコイイなと思ったからです。

私は6年生になってキャプテンになりました。私がキャプテンになるとコーチに言われた時、少し戸惑ったけれど、頑張ったキャプテンをすることにしました。キャプテンとしてプレーでもチームを引っ張っていくことに全力を尽くしたいと思います。僕は、2年生の頃にニュージーランドから来たトーマス君と一緒にプレーをした宮日杯です。トーマス君は宮日杯が終わった後、帰国することを知りました。日本で思い出を作ってもらおうと思い、みんなと一緒に練習をしました。そして、宮日杯で優勝できたという思い出が忘れられません。

僕は体が小さいですが体の大きさは関係なく、パスの正確さや声を出してチームを引っ張っていくところがラグビーの魅力を感じています。ラグビーを通して学んだことは、チームワークの大切さです。ラグビーワールドカップでワンチームと言う言葉で日本代表が活躍したように、僕たちもチームのためにプレーをしていきたいです。

僕は、高鍋西小学校6年の木下見大です。1年生から高鍋ラグビースクールに所属しています。ラグビーを始めた理由は、お父さんもラグビーをやっていたことと、五郎丸拳選手が活躍している姿を見てカッコイイなと思ったからです。

このころのうんどうじょうようにおぼあちゃんときいています。じゆんびは、いし川コーチとしています。カラーコーチをならべたり、ラグビーをひろげたりしています。みんながあつたらあかさつしてはじまります。わたしが、こうれいをかけることがあります。そのわけは、一ばんはやくきいたかめです。一ばんうれしときは、トライをしたときです。タグとむおにこはこはこもたのしいけどあしがいたくなるときがあります。トライをしたらコーチがほめてくれます。

「国体への意気込み」

都城RS 黒木 孝輔

2027年、この作文を書くにあたり国体への意気込みとは何だろうかと考えました。それは、実際に国体を見たことがなかったからです。だから、国体について詳しく調べてみました。分かったことは、国体とはスポーツをしている人にとってのあの舞台であるということです。

僕は、高鍋西小学校6年の木下見大です。1年生から高鍋ラグビースクールに所属しています。ラグビーを始めた理由は、お父さんもラグビーをやっていたことと、五郎丸拳選手が活躍している姿を見てカッコイイなと思ったからです。

僕は体が小さいですが体の大きさは関係なく、パスの正確さや声を出してチームを引っ張っていくところがラグビーの魅力を感じています。ラグビーを通して学んだことは、チームワークの大切さです。ラグビーワールドカップでワンチームと言う言葉で日本代表が活躍したように、僕たちもチームのためにプレーをしていきたいです。

その時は高校3年生です。心も体も最も成長するであろう高校の集大成である時期に、地元で開催されるのはとても幸せなことだと思います。僕は宮崎県の代表になるために、また、国スポ優勝に向けてこれからもラグビーの練習に全力で取り組みます。1つに、個人個人の力を高めたいです。日々の練習で教えるも、チームに全力で取り組むことももちろん、国内外の試合を見て、色々なスキルを高めることに、今行なっていると思います。僕はまだまだ精神面が弱いので、たくさん練習して、心も強くしていきたいです。

このころのうんどうじょうようにおぼあちゃんときいています。じゆんびは、いし川コーチとしています。カラーコーチをならべたり、ラグビーをひろげたりしています。みんながあつたらあかさつしてはじまります。わたしが、こうれいをかけることがあります。そのわけは、一ばんはやくきいたかめです。一ばんうれしときは、トライをしたときです。タグとむおにこはこはこもたのしいけどあしがいたくなるときがあります。トライをしたらコーチがほめてくれます。

「宮崎県で開催される国体に向けて」

日南少年RS 廣澤 琉斗

宮崎県で国体が開催される年、僕は高校2年生で、約6年後です。6年後に自分がどんな風に成長できているか分かりませんが、国体には全国の代表選手が官帽に集まるので、全国の強いチームと試合をして、宮崎のラグビーの強さを見たいです。高校生になるまでに、今までは個人で練習、ラグビーを続けるながら、高校では誰にも負けないラグビースキルやフィジカルを身に付けて国体の選手になり活躍したいと思っています。僕がラグビーを始めたきっかけは、小さな頃に兄達の練習に毎回ついていったことでした。その頃は痛そうなおスポーツだなと思っていました。今は、痛そうなおスポーツだとは思っていません。体がラグビーに慣れてきたら、小さな頃に兄達の練習に毎回ついていったことでした。

僕は、高鍋西小学校6年の木下見大です。1年生から高鍋ラグビースクールに所属しています。ラグビーを始めた理由は、お父さんもラグビーをやっていたことと、五郎丸拳選手が活躍している姿を見てカッコイイなと思ったからです。

僕は体が小さいですが体の大きさは関係なく、パスの正確さや声を出してチームを引っ張っていくところがラグビーの魅力を感じています。ラグビーを通して学んだことは、チームワークの大切さです。ラグビーワールドカップでワンチームと言う言葉で日本代表が活躍したように、僕たちもチームのためにプレーをしていきたいです。